

港湾・海岸における重点的な取組み

国際競争力の強化と国民生活の質の向上に資する 海上輸送サービスの確保・産業空間の形成

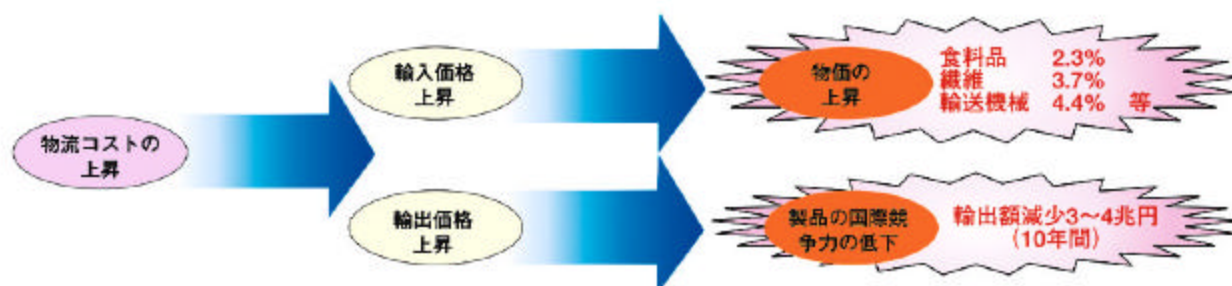
1 国際海上コンテナ輸送の進展に対応した物流ネットワークの形成

指標：国際海上コンテナ貨物等輸送コスト低減率
【H14比5%減(H19)】

物流コストの削減等を通じて、我が国の国際競争力を強化し、国民生活の質の向上に資するために、海上輸送ネットワークの形成を推進します。

欧米との基幹航路における大型コンテナ船の就航、コンテナ貨物量の増大など、輸送環境の変化に対応し、国際港湾として機能強化を図るために、国際海上コンテナターミナルの整備は勿論のこと、ターミナル経営環境の改善によるコスト・サービス競争力の確保、背後地域とのアクセス性の向上を図る臨港道路整備、港湾諸手続きのワンストップサービス化・港湾の24時間フルオープン化などを進めます。

■国際港湾としての機能低下に係る影響（我が国への大型コンテナ船寄港がなくなったケースの分析例）



▲私たちの暮らしに必要な食料品のうち60%近く、原材料・エネルギー資源のうち100%近くが海外からの輸入に頼っています。今後の輸送環境の変化に適切に対応していかなければ、日本の国際港湾としての機能は低下し、私たちの生活にも大きな影響が生じてしまいます。

■コンテナ船の大型化の推移と今後の動向

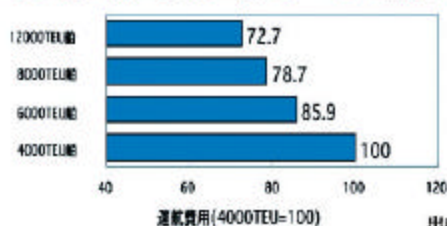


出典：池田良雄「14万TEU超大型コンテナ船の試設計事例（2001.6.12 超大型コンテナ船シンポジウム資料）」より作成
注：2002年の数値は試設計案にもとづくものであり、2005年については推定値を示す。

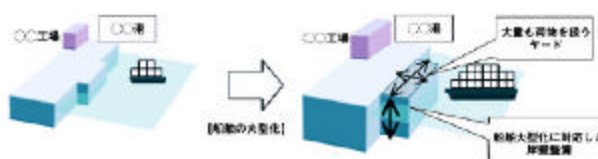
▲世界の基幹航路に投入されるコンテナ船の大型化など、物流の効率化のために輸送環境は変化し続けています。



■コンテナ船の船型別海上輸送コストの試算（1TEU当り）



出典：港湾局資料



▲船舶の大型化等に対応した国際海上コンテナターミナルの整備により海上輸送コストの低減を図ります。（イメージ図）